

又ハ本人ト同一戸籍内ニ在ル滿六十歳以上ノ直系尊屬、滿十八歳未滿ノ直系卑屬若ハ不具癡疾者ニシテ主トシテ本人ノ收入ニ依リ生計ヲ維持スルモノ一人ニ付月額三圓ノ割合ニ依リ計算シタル金額以內ニ於テ支給スル手當

〔參照〕

昭和十六年七月二日 厚生省告示第三百九號ハ本號ト同伴ナリ

尙、昭和十六年七月二十六日厚生省告示第三百十三號(賃金統制令第十條第二項ノ賃金ニ含マザル手當指定ノ件)も右趣旨に伴ひ厚生省告示第七十五號として同日付官報を以て告示せられた。

國民醫療法の公布

第七十九回帝國議會の協贊を経たる國民醫療法は昭和十七年二月二十五日付官報を以て公布を見たが、之を掲ぐれば次の如くである。

國民醫療法(昭和十七年二月十四日法律第七十號)

第一章 總則

第一條 本法ハ國民醫療ノ適正ヲ期シ國民體力ノ向上ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本法ニ於テ醫療關係者トハ醫師、齒科醫師、保健婦、助産婦及看護婦ヲ謂フ

第二章 醫師及齒科醫師

第三條 醫師及齒科醫師ハ醫療及保健指導ヲ掌リ國民體力ノ向上ニ寄與スルヲ以テ其ノ本分トス

第四條 醫師又ハ齒科醫師タラントスル者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ免許ヲ受クルコトヲ要ス

第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シテハ醫師免許又ハ齒科醫師免許ヲ與ヘズ

一 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
二 未成年者、禁治産者、准禁治産者、精神病者、聾者、啞者及盲者

第六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シテハ醫師免許又ハ齒科醫師免許ヲ與ヘザルコトアルベシ

一 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル者
二 醫事ニ關シ罰金ニ處セラレタル者
三 前二號ニ該當スル者ヲ除クノ外醫事ニ關シ不正ノ行為アリタル者

第七條 厚生省ニ醫籍及齒科醫籍ヲ備ヘ醫師免許及齒科醫師免許ニ關スル事項ヲ登錄ス

第八條 醫師ニ非ザレバ醫業ヲ、齒科醫師ニ非ザレバ齒科醫業ヲ爲スコトヲ得ズ

第九條 診療ニ從事スル醫師又ハ齒科醫師ハ診療治療ノ需アル場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第十條 醫師ハ自ら診察セズシテ治療ヲ爲シ、診斷書若ハ處方箋ヲ交付シ又ハ自ら檢案セズシテ檢案書若

ハ死産證書ヲ交付スルコトヲ得ズ但シ診療中ノ患者死亡シタル場合ニ交付スル死亡診斷書ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條 醫師診察ヲ爲シタルトキハ本人又ハ其ノ保護者ニ對シ療養ノ方法其ノ他體力ノ向上上必要ナル事項ノ指導ヲ爲スベシ

第十二條 醫師又ハ齒科醫師診療ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク診療ニ關スル事項ヲ診療録ニ記載スベシ

第十三條 醫師又ハ齒科醫師醫業又ハ齒科醫業ニ關シ命令ヲ以テ定ムル科名ニ付專門ヲ標榜セントスルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受クベシ

第十四條 醫業又ハ齒科醫業ニ關シテハ何人ト雖モ前條ノ規定ニ依ル專門ノ標榜ノ外技能、治療方法、經歷又ハ學位ニ關スル廣告ヲ爲スコトヲ得ズ但シ醫師又ハ齒科醫師ノ稱號及命令ヲ以テ定ムル診療科名ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條 醫師又ハ齒科醫師第五條各號ノ一ニ該當ス

ルトキハ其ノ免許ヲ取消スベシ但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

醫師又ハ齒科醫師第六條各號ノ一ニ該當シ又ハ醫師若ハ齒科醫師タルノ品位ヲ損スル行爲アリタルトキハ免許ヲ取消シ又ハ期間ヲ定メテ醫業若ハ齒科醫業ヲ停止スルコトアルベシ其ノ事免許前ニ係ル場合亦同ジ

前項ノ取消處分ヲ受ケタル者ト雖モ改悛ノ情顯著ナルトキハ再免許ヲ與フルコトアルベシ

第一項ノ取消處分ヲ受ケタル者ニ付第五條第二號ノ原因止ミタルトキ亦同ジ

前項前段ノ規定ニ依リ再免許ヲ受ケタル者主務大臣ノ定ムル期間内ニ於テ第六條第一號又ハ第二號ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ再免許ハ效力ヲ失フ

第一項乃至第三項ノ處分ハ主務大臣之ヲ行フ

第三章 醫師會及齒科醫師會

第十六條 日本醫師會、道府縣醫師會、日本齒科醫師會及道府縣齒科醫師會ハ醫療及保健指導ノ改良發達ヲ圖リ國民體力ノ向上ニ關スル國策ニ協力スルヲ以テ目的トス

日本醫師會、道府縣醫師會、日本齒科醫師會及道府縣齒科醫師會ハ法人トス

第十七條 醫師又ハ齒科醫師ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ道府縣醫師會又ハ道府縣齒科醫師會ヲ設立スベシ

醫師又ハ齒科醫師ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ道府縣醫師會又ハ道府縣齒科醫師會ノ會員トス

醫師又ハ齒科醫師ニ非ザルモ醫師免許又ハ齒科醫師免許ヲ受ケル資格ヲ有スル者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ道府縣醫師會又ハ道府縣齒科醫師會ノ會員タ

ラシムルコトヲ得ルモノトス

第十八條 道府縣醫師會又ハ道府縣齒科醫師會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ日本醫師會又ハ日本齒科醫師會ヲ設立スベシ

道府縣醫師會又ハ道府縣齒科醫師會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ日本醫師會又ハ日本齒科醫師會ノ會員トス

第十九條 道府縣醫師會又ハ道府縣齒科醫師會ハ其ノ會員ヨリ徵收スベキ收入ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十條 前四條ニ規定スルモノノ外日本醫師會、道府縣醫師會、日本齒科醫師會及道府縣齒科醫師會ノ設立ノ手續、區域、機關、經費ノ負擔及其ノ徵收、監督、會員ノ懲戒其ノ他ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十一條 醫院、診療所又ハ産院ヲ開設セントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣又ハ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ノ許可ヲ受クベシ

前項ニ規定スルモノノ外病院、診療所及産院ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條 主務大臣國民體力ノ向上ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ醫療關係者ト爲リタル者ヲシテ二年以内主務大臣ノ指定スル業務ニ從事スベキコトヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル命令ハ初テ醫療關係者ト爲リタル時ヨリ一年以内ニ之ヲ爲スモノトス

第二十三條 主務大臣國民體力ノ向上ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ醫療關係者ニ對シ醫療、保健指導、助産及看護ニ關シ必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得

第二十四條 主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ醫療關係者ヲシテ醫療、保健指導、助産及看護ニ關シ必要ナル事項ノ修習ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十五條 主務大臣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ醫療、助産及看護ノ報酬又ハ醫療關係者ノ受クベキ給與ニ關シ必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 主務大臣又ハ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム)必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該官吏ヲシテ病院、診療所及産院ニ臨檢シ其ノ構造設備又ハ診療録其ノ他ノ帳簿書類ヲ檢査セシムルコトヲ得

第二十七條 本章ニ規定スルモノノ外保健婦、助産婦及看護婦ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 本章ニ規定スル主務大臣ノ職權ノ一部ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監ヲ含ム)ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第二十九條 日本醫療團ハ國民體力ノ向上ニ關スル國策ニ則シ醫療ノ普及ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第五章 日本醫療團

日本醫療團ハ法人トス

第三十條 日本醫療團ハ主タル事務所ヲ東京市ニ置ク日本醫療團ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ必要ノ地ニ從タル事務所ヲ設置スルコトヲ得

第三十一條 日本醫療團ノ資本金ハ一億圓トス但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ増加スルコトヲ得

第三十二條 政府ハ一億圓ヲ日本醫療團ニ出資スベシ前項ノ出資ハ國債證券ヲ交付シテ之ヲ爲スコトヲ得前項ノ規定ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

第三十三條 第三十一條但書ノ場合ニ於テハ勅令ヲ以テ定ムル者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ所有スル病院、診療所又ハ産院ノ設備及其ノ附屬設備ヲ出資スルコトヲ得

第三十四條 日本醫療團ハ出資ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ出資證券ヲ發行ス

第三十五條 出資者ハ日本醫療團ノ承認ヲ經ルニ非ザレバ其ノ持分ヲ讓渡スルコトヲ得ズ

第三十六條 日本醫療團ハ定款ヲ以テ左ノ事項ヲ規定スベシ

- 一 目的
 - 二 名稱
 - 三 事務所ノ所在地
 - 四 資本金額、出資及資産ニ關スル事項
 - 五 役員及會議ニ關スル事項
 - 六 業務及其ノ執行ニ關スル事項
 - 七 醫療債券ノ發行ニ關スル事項
 - 八 會計ニ關スル事項
 - 九 公告ノ方法
- 定款ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ變更スルコトヲ得
- 第三十七條 日本醫療團ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス
- 前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ
- 第三十八條 日本醫療團ニハ所得稅、法人稅及營業稅ヲ課セズ
- 北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノハ日本醫療團ノ事業ニ對シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ

第三十九條 日本醫療團ニ付解散ヲ必要トスル事由發生シタル場合ニ於テ其ノ處置ニ關シテハ別ニ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第四十條 日本醫療團ニ非ザル者ハ日本醫療團又ハ之ニ類似スル名稱ヲ用フルコトヲ得ズ

第四十一條 民法第四十四條、第五十條、第五十四條及第五十七條並ニ非訟事件手續法第三十五條第一項ノ規定ハ日本醫療團ニ之ヲ準用ス

第四十二條 日本醫療團ニ總裁副總裁各一人、理事五人以上及監事二人以上ヲ置ク

總裁ハ日本醫療團ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス
副總裁ハ定款ノ定ムル所ニ依リ日本醫療團ヲ代表シ副總裁ヲ輔佐シテ日本醫療團ノ業務ヲ掌理ス
副總裁ハ總裁事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ總裁缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ日本醫療團ヲ代表シ總裁及副總裁ヲ輔佐シテ日本醫療團ノ業務ヲ掌理ス
理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總裁及副總裁共ニ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ總裁及副總裁共ニ缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

監事ハ日本醫療團ノ業務ヲ監査ス

第四十三條 總裁、副總裁、理事及監事ハ主務大臣之ヲ命ズ

總裁、副總裁及理事ノ任期ハ三年、監事ノ任期ハ二年トス

第四十四條 總裁、副總裁及理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ從タル事務所ノ業務ニ關シ一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有スル代理人ヲ選任スルコトヲ得

第四十五條 總裁、副總裁及理事ハ他ノ職業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四十六條 日本醫療團ニ參與理事ヲ置キ地方長官ノ職ニ在ル者ヲ以テ之ニ充ツ

參與理事ハ日本醫療團ノ業務ニ參與ス

第四十七條 日本醫療團ニ評議員若干人ヲ置キ主務大臣之ヲ命ズ

評議員ハ業務經營ニ關スル重要ナル事項ニ付總裁ノ諮問ニ應ジ必要アルトキハ之ニ對シ意見ヲ述ブルコトヲ得

評議員ハ名譽職トシ其ノ任期ハ二年トス

第四十八條 日本醫療團ニ顧問若干人ヲ置キ總裁ノ推薦ニ依リ主務大臣之ヲ命ズ

顧問ハ業務ニ關スル重要ナル事項ニ參畫セシム顧問ハ名譽職トス

第四十九條 日本醫療團ハ左ノ業務ヲ行フ

- 一 病院、診療所及産院ノ經營
- 二 前號ノ病院、診療所及産院ノ醫療關係者ノ指導及鍊成
- 三 前各號ノ業務ニ附帶スル事業

日本醫療團ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ前項ニ掲グル業務以外ノ業務ヲ行フコトヲ得

第五十條 日本醫療團病院、診療所又ハ産院ノ設備ノ讓渡又ハ貸付ニ付權原ヲ有スル者ト協議ヲ爲スモ協議調ハザルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ニ其ノ讓受又ハ借受ニ付決定ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請アリタルトキハ主務大臣ハ當該事項ニ付必要ナル決定ヲ爲スコトヲ得

前項ノ決定中對價ニ付不服アル者ハ其ノ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前三項ニ規定スルモノノ外決定及之ニ依ル病院、診療所又ハ産院ノ設備ノ讓渡又ハ貸付ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

前四項ノ規定ハ病院、診療所又ハ産院ノ事業ノ讓渡又ハ貸付ニ之ヲ準用ス

第五十一條 日本醫療團ハ前條ノ規定ニ依リ讓受ケタル病院、診療所又ハ産院ノ設備又ハ事業ノ代價ニ付テハ國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

第五十二條 日本醫療團ハ第四十九條ニ規定スル業務ノ用ニ充ツル爲必要ナル土地、建物其ノ他ノ工作物又ハ土地ニ關スル所有權以外ノ權利ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ニ關シテハ土地收用法ヲ適用ス

第五十三條 日本醫療團ハ政府ノ拂込ミタル出資金額ノ五倍ヲ限リ醫療債券ヲ發行スルコトヲ得

第五十四條 醫療債券ハ額面金額五十圓以上トシ無記名札附トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ依リ記名ト爲スコトヲ得

醫療債券ハ割引ノ方法ヲ以テ之ヲ發行スルコトヲ得

第五十五條 日本醫療團ハ醫療債券借換ノ爲一時第五十三條ノ制限ニ依ラズ醫療債券ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ醫療債券ヲ發行シタルトキハ發行後一月以内ニ其ノ發行額面金額ニ相當スル舊醫療債

券ヲ償還スベシ

第五十六條 政府ハ醫療債券ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ヲ保證スルコトヲ得

第五十七條 醫療債券ハ賣出ノ方法ヲ以テ發行スルコトヲ得

第五十八條 日本醫療團ニ於テ醫療債券ヲ發行セントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第五十九條 醫療債券ノ消滅時効ハ元本ニ在リテハ十五年、利息ニ在リテハ五年ヲ以テ完成ス

第六十條 醫療債券ノ所有者ハ日本醫療團ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辦濟ヲ受クル權利ヲ有ス

前項ノ規定ハ民法上ノ一般ノ先取特權ノ行使ヲ妨グルコトナシ

第六十一條 所得税法及有價證券移轉税法中國債以外ノ公債ニ關スル規定ハ醫療債券ニ之ヲ準用ス

第六十二條 前九條ニ規定スルモノノ外醫療債券ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十三條 日本醫療團ノ事業年度ハ毎年四月ヨリ翌年三月迄トス

第六十四條 日本醫療團ハ拂込ミタル出資金額又ハ第六十三條ノ出資ニ對シ勅令ヲ以テ定ムル割合ヲ超エテ剩餘金ノ配當ヲ爲スコトヲ得ズ

日本醫療團ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ政府ノ出資ニ對シ剩餘金ノ配當ヲ減額シ又ハ之ヲ爲サザルコトヲ得

第六十五條 日本醫療團ハ左ノ方法ニ依ルノ外業務上ノ餘裕金ヲ運用スルコトヲ得ズ

一 國債、地方債又ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル有價證券ノ取得ヲ爲スコト

二 大藏省預金部若ハ銀行ヘノ預金又ハ郵便貯金ト爲スコト

第六十六條 日本醫療團ハ設立ノ時及毎事業年度ノ初ニ於テ財産目録、貸借對照表及損益計算書ヲ作成シ定款ト共ニ之ヲ各事務所ニ備置クコトヲ要ス

債權者ハ業務時間内何時ニテモ前項ニ掲グル書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第六十七條 日本醫療團ハ主務大臣之ヲ監督ス

第六十八條 日本醫療團ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ剩餘金ヲ處分スルコトヲ得ズ

第六十九條 日本醫療團ハ毎事業年度ノ初ニ於テ事業計畫ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第七十條 主務大臣ハ日本醫療團ニ對シ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ、檢査ヲ爲シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第七十一條 主務大臣ハ日本醫療團ニ對シ結核ノ療養其ノ他國民醫療ニ必要ナル施設ヲ爲スコトヲ命ズルコトヲ得

第七十二條 總裁、副總裁、理事又ハ監事ガ法令、定款若ハ主務大臣ノ命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ之ヲ解任スルコトヲ得

第七十三條 政府ハ日本醫療團ニ對シ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付スルコトヲ得

第六章 罰則

第七十四條 第八條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者醫師若ハ齒科醫師又ハ之ニ類

ノ者ハ之ニ類

スル名稱ヲ僭稱シタルモノナルトキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十五條 當該官吏又ハ其ノ職ニ在リタル者故ナク

第二十六條ノ規定ニ依ル診療録ノ検査ニ關シ知得シタル醫師若ハ齒科醫師ノ業務上ノ秘密又ハ個人ノ秘密ヲ洩洩シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

職務上前項ノ秘密ヲ知得シタル他ノ公務員又ハ公務員タリシ者故ナク其ノ秘密ヲ洩洩シタルトキ亦前項ニ同ジ

第七十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第八條第二項、第九條、第十條、第十二條又ハ第十三條ノ規定ニ違反シタル者

二 第十四條第一項又ハ第二十一條第一項ノ規定ニ違反シタル者

三 第十四條第二項若ハ第二十一條第二項ノ規定ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル者

四 第二十五條ノ規定ニ基キテ發スル命令若ハ之ニ基キテ爲ス處分又ハ同條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタル者

五 第二十六條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

六 醫業停止中ノ醫師ニシテ醫業ヲ爲シタルモノ又ハ齒科醫業停止中ノ齒科醫師ニシテ齒科醫業ヲ爲シタルモノ

第七十七條 法人又ハ人ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ

關シ前條第二號、第三號又ハ第四號ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ法人又ハ人ハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免カルコトヲ得ズ

第七十八條 第七十六條第二號乃至第四號ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ其ノ業務ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第七十九條 左ノ場合ニ於テハ日本醫藥團ノ總裁、副總裁、理事又ハ監事ヲ千圓以下ノ過料ニ處ス

一 第五章ノ規定ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受ケベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ

二 第五章ニ規定セザル業務ヲ營ミタルトキ

三 第五十三條又ハ第五十五條第二項ノ規定ニ違反シ醫療債券ノ發行ヲ爲シ又ハ償還ヲ爲サザルトキ

四 第六十五條ノ規定ニ違反シ業務上ノ餘裕金ヲ運用シタルトキ

五 主務大臣ノ監督上ノ命令又ハ處分ニ違反シタルトキ

第八十條 左ノ場合ニ於テハ日本醫藥團ノ總裁、副總裁、理事又ハ監事ヲ五百圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法ニ基キテ發スル勅令ニ違反シ登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

二 第六十六條ノ規定ニ違反シ書類ヲ備置カザルトキ、其ノ書類ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ又ハ正當ノ事由ナクシテ其ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ

第八十一條 第四十條ノ規定ニ違反シ日本醫藥團又ハ

之ニ類似スル名稱ヲ用ヒタル者ハ五百圓以下ノ過料ニ處ス

附則

第八十二條 本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十三條 醫師法及齒科醫師法ハ之ヲ廢止ス但シ同法中郡市區醫師會、道府縣醫師會及日本醫師會並ニ郡市齒科醫師會、道府縣齒科醫師會及日本齒科醫師會ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ定ムル時迄仍其ノ效力ヲ有ス

第八十四條 醫師法又ハ齒科醫師法ニ依リ醫師免許又ハ齒科醫師免許ヲ受ケタル者ハ本法ニ依リ醫師免許又ハ齒科醫師免許ヲ受ケタル者ト看做ス醫師法又ハ齒科醫師法ノ施行前醫術開業免狀又ハ齒科醫術開業免狀ヲ得タル者ニ付亦同ジ

醫師法施行前醫術開業免狀ヲ得タル者ノ爲ス醫業ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第八十五條 本法ノ適用ニ付テハ明治十三年第三十六號布告刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ、同法ノ禁錮ニ處セラレタル者ハ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル者ト看做ス

第八十六條 醫師法又ハ齒科醫師法ニ依ル醫籍又ハ齒科醫籍ノ登錄ハ之ヲ本法ニ依ル醫籍又ハ齒科醫籍ノ登錄ト看做ス

第八十七條 醫師法又ハ齒科醫師法ニ依リ爲シタル醫師免許若ハ齒科醫師免許ノ取消ノ處分又ハ醫業若ハ齒科醫業ノ停止ノ處分ハ之ヲ本法ノ相當規定ニ依リテ爲シタルモノト看做ス此ノ場合ニ於テ停止ノ期間ハ

仍従前ノ例ニ依ル

第八十八條 醫師法又ハ齒科醫師法ノ郡市區醫師會道府縣醫師會及日本醫師會並ニ郡市區醫師會道府縣齒科醫師會及日本齒科醫師會ノ權利義務ニシテ第八十三條但書ノ規定ニ依リ勅令ヲ以テ定ムル時ニ於テ存スルモノハ勅令ノ定ムル所ニ依リ各本法ノ道府縣醫師會及日本醫師會並ニ道府縣齒科醫師會及日本齒科醫師會之ヲ承繼ス

第八十九條 醫師法若ハ齒科醫師法又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者ノ處罰ニ付テハ仍舊法ニ依ル

第九十條 主務大臣ハ設立委員ヲ命ジ日本醫療團ノ設立ニ關スル事務ヲ處理セシム

第九十一條 定款ニ付主務大臣ノ認可アリタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク出資ノ第一回ノ拂込ヲ稟請スベシ

第九十二條 出資ノ第一回ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク其ノ事務ヲ日本醫療團總裁ニ引繼グベシ

第九十三條 日本醫療團ハ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スニ因リテ成立ス

第九十四條 結核豫防法中左ノ通改正ス

第七條第一項中「前條ノ規定ニ依リ設置スル結核療養所」ノ上ニ「日本醫療團ノ結核療養所又ハ」ヲ加フ

第九十五條 登錄稅法中左ノ通改正ス

第二條ノ二 日本醫療團ガ病院、診療所又ハ產院ノ用ニ供スル不動産ニ關スル權利ノ取得又ハ保存ニ付登記ヲ受クルトキハ前條ノ規定ニ拘ラズ其ノ登

錄稅ノ額ハ不動産價格ノ千分ノ一トス

第六條ノ二中「恩給金庫カ恩給債券ニ付」ヲ「恩給金庫又ハ日本醫療團カ恩給債券又ハ醫療債券ニ付」ニ、「恩給債券又ハ其ノ」ヲ「恩給債券若ハ醫療債券又ハ其ノ」ニ改ム

第十九條第七號中「住宅營團」ノ下ニ「日本醫療團」ヲ「住宅營團法」ノ下ニ「國民醫療法」ヲ加フ

同條第十八號中「又ハ住宅營團」ヲ「住宅營團又ハ日本醫療團」ニ改ム

第九十六條 印紙稅法中左ノ通改正ス

第五條第六號ノ四ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ
六ノ四ノ二 日本醫療團ノ發スル出資證券並ニ國民醫療法第四十九條第一項第一號及第二號ノ業務ニ關スル證書帳簿

〔參照〕

大正八年三月二十法律第二十六號結核豫防法抄錄
第六條 主務大臣ハ結核患者ニシテ環境上病毒傳播ノ虞アルモノヲ收容セシムル爲北海道府縣其ノ他必要ト認ムル公共團體ニ對シ結核療養所ノ設置ヲ命ズルコトヲ得

第七條第一項

地方長官ハ環境上病毒傳播ノ虞アル結核患者ニシテ豫防上特ニ必要ト認ムルモノヲ前條ノ規定ニ依リ設置スル結核療養所ニ入所セシムルコトヲ得
明治二十九年三月二十法律第二十七號登錄稅法抄錄

錄

第六條ノ二 恩給金庫カ恩給債券ニ付登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登錄稅ヲ納ムヘシ
一 恩給債券又ハ其ノ第二回以後ノ拂込

第十九條 左ニ掲クルモノニハ登錄稅ヲ課セス但シ

第二號ノ二、第八號乃至第九號ノ四、第十一號、第十一號ノ三、第十二號及第十四號乃至第十七號ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ル

七 恩給金庫、農地開發營團、產業組合、產業組合聯合會、產業組合中央會、國民更生金庫、庶

民金庫、帝都高速度交通營團、住宅營團、產業設備營團、蠶絲共同施設組合、漁業組合、漁業

組合聯合會、商工組合中央金庫、工業組合、工業組合聯合會、工業小組合、工業組合中央會、

商業組合、商業組合聯合會、商業小組合、商業組合中央會、貿易組合、貿易組合聯合會、貿

易組合中央會、造船組合、造船組合聯合會、海運組合、海運組合聯合會、肥料製造業組合、

自動車運送事業組合、自動車運送事業組合聯合會、貸家組合、貸家組合聯合會、貸家組合又ハ

貸室組合聯合會ニ付恩給金庫法、農地開發法、產業組合法、國民更生金庫法、庶民金庫法、

帝都高速度交通營團法、住宅營團法、產業設備營團法、蠶絲業法、漁業法、商工組合中央金庫

法、工業組合法、商業組合法、貿易組合法、造船事業法、海運組合法、重要肥料業統制法、自

動車交通事業法又ハ貸家組合法ニ基キテ爲ス登記

十八 國民更生金庫、庶民金庫又ハ住宅營團ノ事務所ノ用ニ供スル不動産ニ關スル登記

明治三十二年三月十法律第五十四號印紙稅法抄錄

錄

第五條 左ニ掲クル證書、帳簿ニ關シテハ印紙稅ヲ納ムルコトヲ要セス
(左記略ス)

重要事業場勞務管理令施行規則の公布

昭和十七年二月二十八日付官報を以て公布せられた重要事業場勞務管理令施行規則を掲ぐれば以下の如くである。

重要事業場勞務管理令施行規則

(昭和十七年二月二十八日厚生省令第十號)

第一條 重要事業場勞務管理令(以下令ト稱ス)第二條ノ規定ニ依リ指定シタル重要事業場(以下重要事業場ト稱ス)ノ事業主(以下事業主ト稱ス)ハ其ノ重要事業場ニ付令第二條ノ指定アリタル日ヨリ二十日以内ニ令第四條第一項及第十條第一項ノ認可ノ申請ヲ爲スベシ

第二條 從業規則ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ但シ鐵道營業法第二十條及第二十三條第二項ノ規定ニ依リ監督官廳ノ認可ヲ受クベキ事項竝ニ地方鐵道係員職制及軌道係員規程ニ定ムル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 從業者ノ身分、職務及指揮監督ニ關スル事項
- 二 始業及終業ノ時刻、休憩時間、休日竝ニ交替制ニ於ケル就業轉換ニ關スル事項
- 三 早出、殘業及宿直ニ關スル事項
- 四 入場、退場、遅刻及早退ニ關スル事項
- 五 缺勤及休暇ニ關スル事項

- 六 保健衛生ニ關スル事項
- 七 危害豫防ニ關スル事項
- 八 褒賞及懲戒ニ關スル事項
- 九 解雇及退職ニ關スル事項

前項各號ニ掲グル事項ノ外從業ニ關シ必要ナル事項ハ之ヲ從業規則ニ記載スルコトヲ得

第三條 令第五條第二項ノ許可ノ申請ニハ從業規則ニ依リ得ザル理由竝ニ從業ノ方法及期間ヲ具スベシ

第四條 事業主ノ從業者ニ對シ爲ス指示ガ令第八條若

ハ第十六條第一項ノ規定ニ依ル命令又ハ令第五條第

二項ノ規定ニ依リ受ケタル許可ニ基クモノナルトキ

ハ事業主ハ其ノ旨ヲ從業者ニ明示スベシ

第五條 賃金規則ニハ勞務者ノ賃金ニ關シ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 賃金締切ノ期間竝ニ支拂ノ期日及方法ニ關スル事項
- 二 賃金計算ノ基礎ト爲ルベキ所定就業時間ニ關スル事項
- 三 定額給ノ定アルトキハ其ノ初給額及最低額ニ關スル事項
- 四 請負賃金制ニ於ケル保證給ノ初給額及最低額ニ關スル事項
- 五 單價請負、時間請負又ハ歩合請負ノ制アルトキハ其ノ請負單價、請負時間又ハ請負歩合及賃金算定方法ニ關スル事項
- 六 手當ヲ支給スルトキハ其ノ名稱及額又ハ率竝ニ給與條件ニ關スル事項
- 七 實物給與ヲ爲ストキハ其ノ種類、數量、評價額及給與條件ニ關スル事項

- 八 遅刻又ハ早退ノ場合ニ於ケル賃金ノ計算方法ニ關スル事項
- 九 賃金ノ一部ヲ貯蓄又ハ公債購入ノ爲控除スルトキハ其ノ定ノ要旨ニ關スル事項
- 十 其ノ他賃金ニ關シ必要ナル事項

第六條 給料規則ニハ職員ノ給料ニ關シ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 給料締切ノ期間竝ニ支拂ノ期日及方法ニ關スル事項
- 二 基本給料ノ初給額ニ關スル事項
- 三 手當ヲ支給セントスルトキハ其ノ手當ノ名稱及額又ハ率竝ニ給與條件ニ關スル事項
- 四 實物給與ヲ爲ストキハ其ノ種類、數量、評價額及給與條件ニ關スル事項
- 五 給料ノ一部ヲ貯蓄又ハ公債購入ノ爲控除スルトキハ其ノ定ノ要旨ニ關スル事項
- 六 其ノ他給料ニ關シ必要ナル事項
- 七 事業主ノ從業者ニ對スル賃金又ハ給料ノ支拂ガ令第十三條若ハ令第十六條第一項ノ規定ニ依ル命令又ハ令第十一條第二項ノ規定ニ依リ受ケタル許可ニ基キ賃金規則又ハ給料規則ニ依ラザルモノナルトキハ事業主ハ其ノ旨從業者ニ明示スベシ
- 八 昇給内規ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 昇給期ニ關スル事項
- 二 昇給條件ニ關スル事項
- 三 一回ノ昇給ノ最高額、最低額及標準額ニ關スル事項
- 四 其ノ他昇給ニ關シ必要ナル事項

第九條 令第十一條第二項ノ規定ニ依リ許可ノ申請ニ

關スル事項